

Windows XP 環境における「自由サイズ」の設定及び印刷方法

Windows95/98/Me 対応プリンタドライバでは、プリンタプロパティの「用紙サイズ」で「自由」サイズが設定できましたが、Windows NT4.0/2000/XP 対応のプリンタドライバでは、「用紙サイズ」で「自由」を選択することができません。

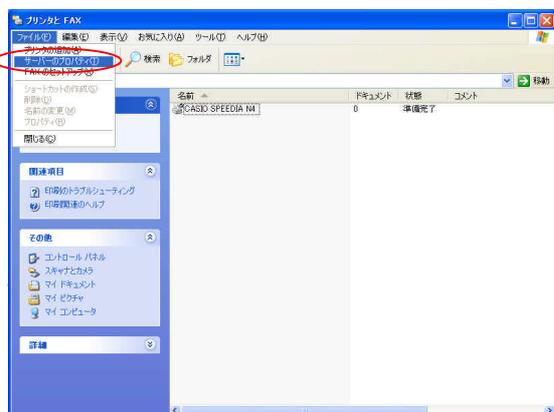
ここでは、Windows XP 環境における「自由」の用紙サイズの作成方法、および印刷方法を説明します。

(注意) WindowsNT4.0/2000/XP 対応プリンタドライバで自由サイズに印刷するときは、最新のプリンタドライババージョンをご利用ください。

最新のプリンタドライバは、下記 URL よりダウンロードすることができます。

<http://www.casio.co.jp/ppr/>

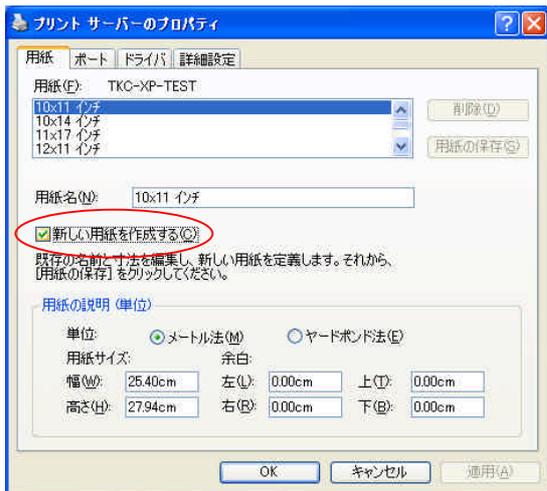
「スタート」メニューの「設定」から「プリンタ」を選択し、プリンタフォルダを開きます。



「ファイル」メニューから「サーバーのプロパティ」を選択します。



「プリンタサーバーのプロパティ」画面が開きますので、「用紙」タブを選択します。



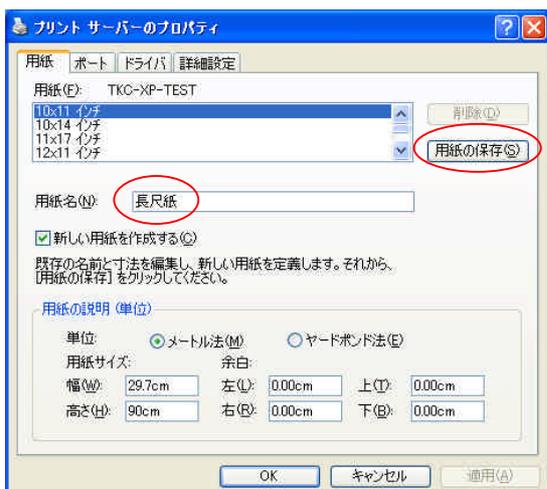
「用紙の説明」箇所より、「新しい用紙を作成する」にチェックを入れます。



「用紙サイズ」に印刷する自由サイズの幅、高さを入力します。（「単位」で「メートル法」にチェックが入っている場合は「cm」で入力します。）

<注意>

ここで入力する幅、高さは、用紙方向[縦]を想定して入力します。



作成した自由サイズの用紙に「名前」をつけ、【用紙の保存】ボタンをクリックします。



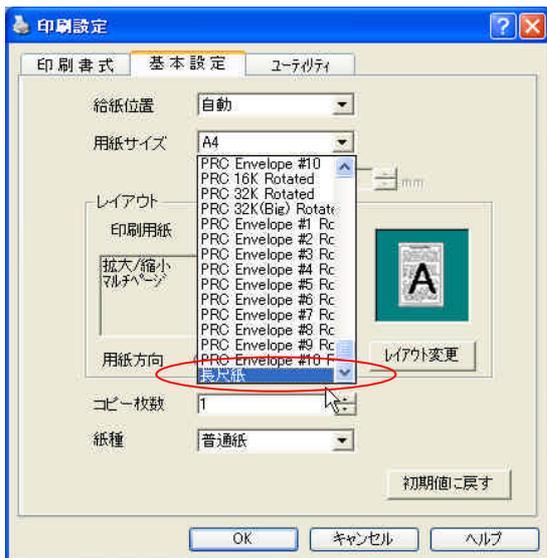
作成した用紙の名前が「用紙」の欄に登録されます。
【閉じる】をクリックして終了します。

以上で用紙の作成は終了です。
実際アプリケーションから印刷を行うときは以下のように設定します。

自由サイズの印刷を行うアプリケーションを起動します。

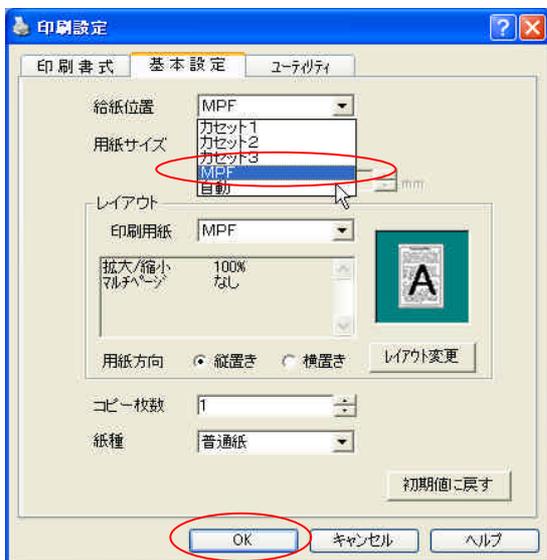


アプリケーションより、印刷のプロパティを開きます。
プロパティより「基本設定」を選択します。



「用紙サイズ」の候補より、先程作成した用紙が表示されますので選択します。(通常は、用紙サイズの最後に表示されます。)

作成した用紙サイズが表示されない場合、で入力した幅、高さの値に誤りのある可能性があります。再度見直してください。



「用紙位置」を「MPF」、用紙方向を選択し、【OK】をクリックします。

アプリケーションより印刷を行います。

【注意事項】

- ・プリンタ機種によって利用できる最大の用紙サイズは異なります。
- ・印刷可能な用紙サイズは、使用するアプリケーションによって異なります。
特にA3より大きな(長い)用紙サイズでは印刷できない場合があります。その場合、解像度を300dpiにすることで印刷できることもありますのでお試しください。
- ・プリンタドライバの「ヘルプ」にも詳細な説明が記載されておりますので、あわせてご覧頂きますようお願い致します。